

平成23年6月27日
公益財団法人アイ メイト協会

公益財団法人への移行のお知らせ

アイ メイト協会は6月27日に内閣府より公益財団法人への移行が認定されました。

これにより「公益財団法人アイ メイト協会」として、歩み始めます。今後も当協会の創設者・故 塩屋賢一が掲げた「視覚障害者の社会参加には自立した歩行が必要である」を信念に、視覚障害者に質の高いアイ メイト歩行を提供して参ります。

公益財団法人アイ メイト協会は、昭和32年に日本初の国産盲導犬「チャンピイ」を育てた故 塩屋賢一が設立した盲人厚生援護施設です。当協会出身の犬は盲導犬ではなく、「私の愛する目の仲間」という意味を込めて「アイ メイト」と呼んでいます。

《アイ メイト協会の歩み》

- 1948(昭和23) 塩屋賢一が目隠しの生活を体験しながら、盲導犬の育成方法を試行錯誤で始める
- 1950(昭和25) 自宅に「日本盲導犬学校」を開き、「盲導犬研究会」を設立
- 1957(昭和32) 塩屋賢一が国産第一号の盲導犬チャンピイを育成
- 1967(昭和42) 練馬区にあった日本盲導犬学校の施設を母体に(財)日本盲導犬協会が認可される
- 1971(昭和46) その後(財)東京盲導犬協会の設立許可を受ける
- 1989(平成元) 協会名称を(財)アイ メイト協会に変更
- 1996(平成8) 練馬区関町北5丁目に視覚障害者歩行訓練センターが竣工
- 2007(平成19) アイ メイト協会卒業の盲導犬と視覚障害者のペア数が1000組に到達。チャンピイ誕生から50周年
- 2009(平成21) 東京都の委託事業によって卒業したペア数が300組に到達
- 2011(平成23) アイ メイト協会の卒業組は1,155組(2011年6月18日現在)
- 2011(平成23) 公益財団法人アイ メイト協会の認可を受ける

以上